



アミール・ツアルファティ
[2024年10月2日 ニュース速報]
<https://youtu.be/DeHdmweY354>



はい、皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ユダ族の山岳地帯からライブです。正確には、ユダ族とベニヤミン族の境界です。私たちはロシュ・ハシャナの休暇でここに来ていて、数泊します。ニュースです。皆さんが接続するのを待って、何が起きているのかを説明します。非常に興味深いですから。いいですか？

か？

これは間違いなく速報です。昨夜のイスラエルへの弾道ミサイル攻撃についてお話しします。いったい何が起こったのかを問うていきます。それから、今後数時間以内に何が起こるかをお伝えしたいと思います。では、接続できた人は私に知らせてください。はい。

それでは皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ユダの山々を背後にライブ配信しています。ガリラヤから少し離れ、ロケットから離れて、ロシュ・ハシャナのために何泊かします。祝日は約 3 時間以内に始まります。今日はヨム・テルアです。後ほど、この祝日のために特別に作ったビデオを投稿します。

皆さん、3つのことについて、速報をお伝えします。その一つは、もちろん、昨日のイランからのロケット攻撃です。しかし、他に知っておくべきことが 2 つあります。まず、昨日、イランが攻撃を開始する前に、イスラエル国防軍の報道官が、次のことを明らかにしました。イスラエルは過去 11 ヶ月間にわたり、レバノン南部で数回の襲撃を行い、そこで私たちは、ヒズボラが 10 月 7 日に向けて準備した、信じられないほどの悪魔的なインフラを発見した。思い出してください、10 月 7 日のような攻撃は、ハマスの考えではなかったと、先日私は言いました。それはヒズボラの考えで、ヒズボラは、ラドワン部隊として知られる地上部隊を創設していました。そしてその部隊の唯一の任務は、ガリラ

ヤに侵入、占領し、破壊、殺害、斬首、強姦、焼き殺し、誘拐することです。それが彼らの仕事です。そして何千人ものラドワン軍、兵士、あるいはテロリスト、何であれ、彼らは最新の武器を持っています、最新の武器です。つまり、ヒズボラは最新式のものを購入できるだけの資金を持っているのです。そして、明らかにイスラエルとの国境沿いでは、攻撃を開始する日のため、あらゆる準備が整っていたようです。しかし、ヤヒヤ・シンワールが手柄を横取りし、イスラエルはもはや驚かなくなりました。それで...ちょっと...この男をバンします。よし。さて、それで...そこで私たちはトンネル、ロケット、爆発物、肩撃ちミサイルを暴き、私たちは家、住宅、子供部屋の下にあるものすべてを暴露しました。私たちは大きな別荘の子供部屋に入り、ベッドの下にあったトンネルへの縦坑を見つけたのです。病的、精神異常者たち。また、彼らが計画していたすべての地図を見つけました。ユダヤ人の町、軍事施設、インフラを明記した地図です。ですから、イスラエルは、10月7日と同様ではるかに致命的な攻撃を阻止することに成功しました。そして我々はすべてを覆して、彼らがイスラエルに侵略する代わりに、我々がレバノンに入りました。これは大きな奇跡です。何が発見され、何が阻止されたのかを、皆さんに伝える手段さえありません。神は、何千もの奇跡を起こしておられます。言っておきますが、今、イスラエルを守るために神に任命された大天使ミカエルの配下の御使いたち、全員が残業して働いています。

次に、弾道ミサイル攻撃について、お話ししましょう。イランのイスファハン、シーラーズ、タブリーズなどの複数の基地から、同時に 190 発の巨大弾道ミサイルが発射されました。ちなみに、そのうちのいくつかは発射された後、イラン革命防衛隊のテロリスト 5 名の頭上に落下し、彼らは実際に死亡しました。つまり、5 人のイラン人が死亡して、そして我々の側の唯一の死者は、安全な場所に入らず、エリコの街を歩いていた、ガザ出身のパレスチナ人です。ですから皆さん、地球史上最大の弾道ミサイル攻撃、そして、弾道ミサイル攻撃が迎撃されたのは、地球史上、これが唯一です。落下したものもあります。しかし、いずれも、建物やインフラの一部が損壊しただけで、けが人や死者は出ませんでした。信じられない奇跡。説明もできません。私は家のバルコニーの外にいました。Facebook ライブをご覧になった方もいるでしょう。大気圏上に何百ものロケットが飛んでいました。私の投稿は Telegram や Facebook でご覧いただけます。全くクレージーでした。

さて、もう一つ知っておくべき事は、イスラエルには、3層の防衛体制があるということです。短距離ミサイル用のアイアンドームがあり、中距離ミサイル用にはデビッド・スリングがあって、長距離弾道ミサイル用のアローがあります。私たちは実際に、それぞれのシステムを統制してこれら3つを同時に使用し、異なる高度の異なる場所にロケットを発射しています。さて、米国は、たしか15発ほどだったと思いますが、ロケットで我々を支援、ヨルダン、フランス、そしておそらくサウジアラビアも支援してくれました。しかし、ロケットの80%は、イスラエルが単独で迎撃しています。地球上で唯一...[ビデオ中断] はい、すみません。ですから、改めて、昨日...

奇跡です。もう言葉がありません。言葉がありません。皆さんの祈りは、皆さんが想像もできない方法で働いています。ほら、ここでは誰もがそれを認めているのです。イスラエルでは、究極の不可知論者や世俗主義者であっても、この事実を避けることはできません。自分の国に190発の弾道ミサイルが発射されて、なのに死者が出なかった。これは奇跡です。周囲にロケット弾が落下してきた人々の証言があります。ロケット弾は、戦略的な拠点の近くにも落ちましたが、命中しませんでした。ありえませんか...ほら、皆さん、祈りは聞かれるのです。イスラエルの神は生きておられ、動いておられます。イスラエルでは、存在が消えないだけでなく、イスラエルは今、それを喜び、皆が「聖書的な時代」だと呼んでいます。「聖書的」です。これまで、これほど短い期間に、これほど多くの奇跡が起こったことは、誰も記憶にありません。奇跡的に物事を阻止し、奇跡的に、攻撃を阻止し、あるいは、我々を破壊しようと狙ったロケットを阻止しました。

さて、確かに、昨日はテロ攻撃がありました。パレスチナ人2人によるものです...見てください、2人のパレスチナ人、19歳と22歳の若いパレスチナ人が銃を盗み、7人のイスラエル人を殺害しました。つまり、2人のパレスチナ人が、190発の弾道ミサイルよりも多くの被害をもたらしたのです。これは、私たちが対処しなければならない、すぐ近くにいる敵です。そして、それを私たちはやっています。しかし、テロ攻撃が近づいているという警報が、1時間ごとに約50件出ていて、そして、私たちは、それらの95%を阻止することができました。しかし、このテロは阻止できませんでした。そしてイスラエル軍は、南レバノンへの侵攻を開始して、同時に、我々はベイルートのヒズボラの拠点を破壊しています。毎日、次から次へと建物で住民は避難命令を受け、20分後、30分後に私たちはそれらを破

壊します。と言っても、私たちは、建物を破壊するのではなく、建物の下にある武器を破壊しているのです。建物はただ、そこに保管されている邪悪なものを隠すのが目的です。ご理解ください。

皆さんに理解していただきたいのは、私たちは現在、7つの戦線で戦っています。イスラエルの歴史上、これほど多くの場所で攻撃を受けたことは、かつてありませんでした。ガザから、ヨルダン川西岸から、シリアから、イラクから、レバノンから、イランから、そしてイエメンから。そして、彼ら全員がイスラエルの強さを感じ、そして彼らは、私たちが、どのようにそれを行っているのか理解できません。正直に言って、イスラエルの物語は、人間が作ったものの物語ではありません。これは、人間の努力の物語ではなく、人間の成功の物語でもなく、神の真実を示す物語です。シオニストのプロパガンダだといくら叫ぼうが、確かに、シオンを住まいとして選んだ方がおられます。彼こそが、私たちをホロコーストの灰の中からこの地に連れ戻されたお方です。神が、私たちのために戦われ、神の力で私たちは地域の超大国になれたのです。

さて、ここからが最も重要な部分です。準備はいいですか？ 数時間後、イスラエルはイランの石油・ガスインフラ、革命防衛隊の軍事基地に対して、前例のない攻撃を開始する予定です。多くの人々が、なぜイスラエルは、この機会を利用してイランの核施設を攻撃しないのかと問うています。心配しないでください。その日は訪れます。私たちは、戦場だけでなく、外交面でも作戦しなければなりません。そして、核施設を攻撃するには、同盟国との十分な協力が得られるまで待たなければならない、そのためには、米国の選挙を待つ必要があるのです。だから、今夜は、核施設が攻撃されることはないだろうと私は考えています。しかし、イランは経済的に破綻するでしょう。

ということで、ここでは興味深い祝日になりそうです。しかし、私たちはこれまでにないほど決意を固めています。私たちは強く、私たちは回復力があり、私たちは忍耐力がある。私たちには忍耐力、持久力があります。しかしそれは、私たちが強く優れているからではなく、イスラエルの神が行動しておられるからです。ここでは、誰もそれを否定できません。最も世俗的な人々でさえ、それを否定することはできません。それは否定できません。つまり、たとえ科学を大いに信じ、優れた頭脳によって、ロケットを阻止するイスラエルの科学開発に貢献した人であっても、人々の周りのいたるところ

ろに落下したロケットが、なぜ、人々に当たらないのか、誰も説明できません。ロケット弾は、戦略的な場所のいたるところに落ちているのに、それらに命中しない。これは、阻止されたり迎撃されたロケットではなく、すでに落下したロケットの話です。

ということで、繰り返しますが、南レバノンで彼らが計画していたことの規模は驚異的です。そして、昨夜の攻撃の規模は驚異的です。しかし、どちらの場合も、イスラエルは、敵の計画実行を阻止することに成功しました。首相は今、テルアビブのオフィスで会議中です。軍のトップ、モサドのトップ、シンベットのトップ、FBIのトップ、そして国防大臣と共に、彼らが、今まさに練っているのは…彼らは昨夜、イラン国内で実行するために、我が国の軍隊に与えられる一連の標的を練る権限を、すでに内閣から与えられています。言っておきますが、イランは非常に驚くことになるでしょう。彼らは昨日大きなミスを犯しました。彼らは、なぜロケットを発射したのか?それは、彼らイスラムの誇りです。イスラムの誇り。私たちがテヘランでハニヤの殺害に成功したことで、彼らの誇りがとても傷つき、私たちが、彼らの最大の投資であるヒズボラを壊滅させることに成功したため、彼らの誇りが非常に傷ついたのです。彼らは、ヒズボラに数十億ドルを投資しました。彼らは怒り、不満、憎しみに満ちており、自分の将来についてさえ考えていません。彼らは罨に落ちたのです。彼らは、自尊心とプライドと、これ以上嘲笑されないように、という思いに駆られ、彼らは、それらが自分たちの行動を左右することを許したのです。そのツケを払う時が来ます。イラン政権が、それを喜ぶかどうか、私にはわかりません。ところで、世界中の人々が、それを喜ぶかどうか、私にはわかりません。きっと石油価格に影響を与えるでしょう。しかし、最終的に、それで世界が団結して、あの政権を攻撃するきっかけになるかもしれません。

聖書的に言えば…願わくば、ファンタジーの世界に駆け込んで、「アヤトラは排除され、イランではイスラエルを愛する政権が彼らに取って代わるだろう」と伝えられると良いのですが、しかし、私の聖書は違うことを告げています。私の聖書は、イラン、ペルシャが、イスラエルへの新たな攻撃に加わると告げています。しかし今度は、主力としてではなく、他の国々の連合に参加します。つまり、これは、イスラエルを滅ぼす意志がまだあることを意味します。そしてもし、その意思がまだあるということは、私たちは、まだアヤトラを排除しないこと、そこには、イスラエルを愛する政権は存在

しないことを意味します。ですから、私たちは、すぐに彼らを無力化するでしょうが、しかし、彼らを倒すとは思えません。彼らは、傷をなめることになるでしょう。彼らは我々の勝利を目にし、彼らは我々が優位に立つのを見るでしょう。彼らは、私たちが平和、安全、安心、繁栄を手に入れていることを知るでしょう。そして、イスラエルが国境も柵もなく安全になったとき、エゼキエル戦争が始まるのです。

ですから、先ほど言ったように、イランは、昨日のイランの行為の代償を払うことになるでしょう。もう一度言いますが、私がイランと言うとき、それはイラン国民ではなく、イスラム共和国のことです。しかし、祝日の最中に、間違いなく緊張が高まるでしょう。とても興味深いです。

彼らは、ユダヤ教の祝日中に私たちを攻撃し始めました。10月7日を覚えていますか？仮庵の祭りの最終日、最も幸せな日でした。そして、それが最も恐ろしいことになったのです。何が起こるか見てみましょう。今夜、ユダヤ暦の新しい年が始まります。そして、皆の祈りは、「昨年とその呪いが終わり、新しい年とその祝福が始まりますように。」つまり、私が言いたいのは、15日前にすべてが変わり、ひっくり返ったということです。そして神は動いておられます。容易な道ではありません。我々とヒズボラ、我々とハマス、我々とイランの間で、かなり興味深い殴り合いが繰り広げられることになるでしょう。しかし、ついに、ついに、私たちの周りの2つの悪魔は無力になりました。そしてついに、私たちは実際に蛇の頭、タコの頭、つまりイランそのものと対峙しているのです。

今、これを診始めた方のために繰り返しますが、昨日、地球史上最大の弾道ミサイル攻撃がありました。そして、地球史上初めて、国家によってほぼ完全にそれが阻止されました。しかし、昨日は、ここで起こった奇跡が新たなレベルに達した日でもありました。ほら、今、至る所に御使いがいるはず。つまり、私たちが経験した奇跡の数から、妨害し、混乱させるために、現在あちらで多くの作業が行われていることは、疑いの余地がありません。それから私は、イスラエルへの攻撃も、仕組まれたものだと思っています。それは罠でもあったのだと思います。なぜなら、今や我々は、ついに、イランを攻撃する理由、正当性、そしておそらく確信を得たからです。だから、それは実行されます。先ほど申し上げたように、イスラエルの軍と治安当局が、現在、会合を開いています。イランの経済

インフラ、主にガスと石油産業が、すぐに打撃を受けるでしょう。そして、IRGC、イラン革命防衛隊も、打撃を受けることになるでしょう。興味深いです。

引き続きお知らせします。しかし、私はほとんどを Telegram で投稿しているので、まだ Telegram をご利用でない方は、ぜひご利用ください。

ユダヤ人の皆さん、シャナ・トヴァ、ロシュ・ハシャナおめでとうございます。今日はヨム・テルア、ラッパを鳴らす日です。そして、ラッパが鳴り響く日が来ると、基本的にメシアが教会とともに地上に戻って来ます。それまでの間、神の祝福がありますように。シャローム。Telegram で私をフォローしてください。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

